

代表質問 (3)

西東京市議会公明党

公明党の予算要望50項目の多くが新年度予算に反映！ 市民生活がまた一歩前進！

佐藤 公男、大田 伸之、藤林 光昭、大田 美智子、藤田 美智子、小幡 勝己

公明党は市長との間で、今後は二元代表制の本来的な姿を目指す、是々非々で臨むこと、

公明党の意見として、保育園舎利用者の配慮、仮設庁舎整備の課題解決、庁舎整備基金、PFIの活用、

迅速な罹災証明の発行による被災者の早期生活再建や経済活動の再開が

3館合築について、公明党がかねてから6項目の指摘事項がクリアされなければゼロベースで見直す

骨髄移植ドナー支援制度について、公明党はこれまで20万人の署名により、

待機児解消に向けた29年度取得取り組みは、認可9カ所、小規模14カ所、

市長の政治姿勢 市長の施政方針には、格差が広がりが市民の暮らしが大変な中、

子ども、市長は市民の命を守る自治体の責務をどうに考えているのか、

居住確保給付金事業など福祉の増進を図る、

日本共産党西東京市議員 命と暮らしを守る責務果たせ 庁舎統合は白紙撤回せよ

大竹 あつ子、保谷 清子、森岡 孝明、藤岡 智明、住岡 孝明



3つの施設の機能を併せ持つ住吉会館ルピナス

子ども、市長は市民の命を守る自治体の責務をどうに考えているのか、

児童生徒数推計に基づく、学校の適正規模・適正配置と施設の有効活用



3つの施設の機能を併せ持つ住吉会館ルピナス

子ども、市長は市民の命を守る自治体の責務をどうに考えているのか、

児童生徒数推計に基づく、学校の適正規模・適正配置と施設の有効活用

代表質問 (4)、議会 NEWS ②

32.9%と市長選挙史上最低投票率への評価は、

35年度まで決める、できるだけ早く市長自身が場所を決めるべきだ、

子ども、市長は市民の命を守る自治体の責務をどうに考えているのか、

幼稚園預かり保育の拡充について、第二の保育の受け皿としても有効である、

認可外保育施設保護者助成について、公明党の要望で29年度より8千円から1万6千円に倍増した、

地方公営制度の先進事例は、都議会公明党が主導した東京都である、

庁舎統合方針の検討過程で、国の社会保障削減から市民の暮らしを守り、



幼稚園預かり保育の受け皿として有効である

認可外保育施設保護者助成について、公明党の要望で29年度より8千円から1万6千円に倍増した、

高年齢者の社会参加を促すため、交通不便地域での外出しやすい環境について、

高年齢者の社会参加を促すため、交通不便地域での外出しやすい環境について、

高年齢者の社会参加を促すため、交通不便地域での外出しやすい環境について、

議会 NEWS ②

市議会の傍聴に「手話通訳者」の派遣を依頼できます

聴覚に障害のある方が市議会の会議を傍聴する際、無料で手話通訳者または要約筆記の依頼ができます。

今後、反対の声があれば重要性等を丁寧に説明する、

力所、小規模保育所2カ所の整備を行う、待機児童・地域の状況に留意し、

「西武新宿線立体交差東伏見駅周辺まちづくり」の進捗状況は、



六角地蔵通りの自転車ナビマーク

「西武新宿線立体交差東伏見駅周辺まちづくり」の進捗状況は、

自治体経営に努めることも大変重要だ、

4年間市のやってきたことは、市民犠牲の負担増とサービス低下だった、

園児期は子どもの成長にとって、とても大事な時期、

園児期は子どもの成長にとって、とても大事な時期、

園児期は子どもの成長にとって、とても大事な時期、

園児期は子どもの成長にとって、とても大事な時期、